
小心者の異世界冒険記

舞桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小心者の異世界冒険記

【コード】

N08890

【作者名】

舞桜

【あらすじ】

日本一小心者の小川 心はある日を境に鋼の錬金術師の世界へ行ってしまふ。

心がのほほんと頑張っちゃうお話であります！！

目が覚めたら・・・（前書き）

初めての投稿です^^

作者12才ですので温かい目で見守っていただくと幸いです。

目が覚めたら・・・

ええと、とりあえず今までの私の行動を整理してみよう!!

1 昨日の夜、宿題でくたくたになり、机の上で寝てしまった。

2 2時に一回目が覚めて風呂へGO!

3 また寝た

4 で、今の状況がこれ。

ちなみに今の状況というのは私は真っ白い空間にいて、そこにはなんか黒い扉があつて、目の前に自分のかけそっくりな『物体』がいます。

「おーい、生きてます?」

たぶん、死んでます・・・。つてえ!!しゃべった!!

「普通にしゃべれるよ」

あそ。それよりこの状況を説明してもらおう!!

「あ、あのですねえ、この状況はいったい何ですか?」

「おまえにはハガレンの世界へ行ってもらおう」

・・・、あそ。・・・別に驚かないよ?にじフオンとかでこのパターン小説読んでもん。しかもそれ読んできいと楽しそうだし。

「おk」

「じゃあ、決まり。いつてらっしゃーい」

「ばいちゃっ」

そうして私はハガレンの世界へ行くことになった。

目が覚めたら・・・（後書き）

すみません。書きだしぐだぐだで。 > (| (<

ちよっ!?!蜘蛛とかまじで無理!!(前書き)

眠いです。。。。。

ちよっ！？蜘蛛とかまじで無理！！（後書き）

まあ、そういうことで^^

なかなか物語が進まないな……。。

雑談コーナー1 (前書き)

その名の通り!!

雑談コーナー1

作「はいどうも^^作者の舞桜です^^」

エ「顔に似合わずネーミングセンスはいいんだな」

作「ひっ、酷い!!!(泣)」

ア「そうだよ兄さん。舞桜さんがいないとぼくたち出て来れないんだよ?それに……舞桜さん怒ると怖いし……(ボソツ)」

小「こんにちわ舞桜さん^^(怒)」

作「あ、はあ、こんにちわ^^」

小「二話目のわたしの設定……、どうなってるのかなあ?^言
^」

作「(こわっ!!)え、あ、その……」

エ「いつもはおとなしいけどガサツで暴言言いまくるって紙に書いてるぞ? W W W W W」

作「ああ!!!」

小「さあ、どういうことが説明してもらいましょうか?^言^まあ、ここではなんなのでわたしの部屋へ逝ってゆーっくりお話でもしましようか^言^」

作「無理無理無理」

？「こんにちわー^^」

作「あつ！勝手に出てきちゃだめだよぉ〜）泣（

？「いいじゃないですか。どうせ出るんですから^^」

全「誰？」

？「ルふぎゅっ！？」

作「あははー^^：」

？「ふあくひゃひゃん、ふあなひて、くるひい……」

作「あ、ごめん。わざとじゃなかったんだー^^言^^」

全「ゾクッ」

作「んー？皆さんどうしたんですかー？^^」

全「い、いや、なんでもないです」

作「それではまた」

全「それじゃあ……」

雑談コーナー1 (後書き)

まあ、そういってね、」

キャラ紹介コーナー（前書き）

ただいまスランプ中（はやっ！！）
（

キャラ紹介コーナー

小川 心

年齢 十四

身長 154

体重 平均より軽め

性格 小心者、ガサツ

容姿 本人は自覚していないがなかなかの美少女。でも、性格がなあ……

一人称 わたし、ぼく

運動 大得意

本人から一言「この設定は（設定？んなもんおもしろけりやええねん！！）っていう作者のばかげた論理で決まってしまいました……」

ルリア

年齢 十四

身長 150

体重 ばっちり平均！！

性格 おっとり、天然

容姿 これまたそこそこの美人

一人称 ぼく

本人から一言「はじめまして。ぼくはルリアと言います^^よろしくお願いします」

^^

・

・
)
/

-
-
-
-

Q さて、これはなんでしょうーか？ 上の絵文字のことです

キャラ紹介コーナー（後書き）

回答は感想で

メノマエデ、ジサツハヤメテクダサイ(前書き)

スランプから復活です!!! まあ、また詰まると思いますかね^^

なです」

「ま、まあアメでも」

「貴女は？」

「うん。わたしは小川 心。好きな色は水色。嫌いな色はピンク。よろしく」

「よろしくです」

「じゃあ、そういうことで。わたしはさきを急がねばいけないから。じゃあ」

そうして、一歩踏み出した。が、腕をつかまれ引き留まった。

「？」

「……………／／／／／」

「えーっと、どうしたのかな？」

「……………あ、あの」

「ん？」

「ぼ、僕も心さんと一緒に旅をさせてくださいー!!」

なぜか顔を真っ赤にしながら言われた。よほど言うのが恥ずかしいんだろうな。ってちよ、ちよい、上目づかいはやめて……………。

「……………OK」

「やったー……………!!」

それからそれから……………

メノマエデ、ジサツハヤメテクダサイ（後書き）

今回はここで終わります^^

また更新しますね^^

誰か、たすけてください(前書き)

更新、おくれてしまいました。

なにしろ学校ではテスト地獄なので

雑談コーナー

作「あれま、心ちゃん気絶しちゃったねー」

エ「そうだな。しかし短いな」

作「うっ……だ、だってテスト地獄で疲れてるんだよ〜」
〜（泣）〜

ア「そうだよ。兄さん。舞桜さんにも都合があるんだから」

作「ありがとう。やっぱりアル君は優しいね〜」

マ「だな」

作「?なんで大佐がいるんですか? (敵意むき出し)」

マ「出てきてはだめか?」

作「だめです」

マ「いやいやそう言わずに」だめです「うっ」

作「だいたい仕事終わってるんですか?」

マ「うっっ」

作「……このサボリ魔が」

マ「グサツ」

エ・ア(なんでこう大佐に対してめちゃくちや冷たいんだろ?)

リ「大佐、帰りますよ。仕事が山ほどありますからね」

マ「わかった……(?すねてる)

エ「じゃあ、俺たちもここで失礼するよ」

作「うん。またねー^^」

誰か、たすけてください（後書き）

前、書いていざ投稿！！と思ったら文字数たりなくて全部パー

「しまじまじ〜〜〜まっ!」(。・。)

作「こんにちは^^:しばらく更新してないのでごりやどげんかせんといかんと思ひ、更新したいと 思います^^:書き忘れてましたが、作者、更新がペースなので(時々マツハ)イライラしな いでください^^:あ、あと(エ)「早く書き始めろっ!」は、はい・・・」

「つつう・・・」

うう・・・全身が・・・ズキズキ痛む・・・。っっていうか・・・
ここは？

「おう、起きたか。大丈夫か？」

は、はい・・・。。。。。。!!?

「ぬおうっ!!--」

「で!？」

いきなり大物だよっ!金髪だよっ!錬金術師だよっ!エドだよっ!
!うはうはっ!(テンションMax)

「つか、おまえ誰だ？」

oh!自己紹介忘れてますた!

「わたしは小川 心。心が名前ね」

「ん〜。アル〜そっちの子は大丈夫か？」

「大丈夫だよ〜」

oh!鎧ちゃん!(作 ベしっ ビンタ)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0889o/>

小心者の異世界冒険記

2011年3月1日01時04分発行